

拡大教授会

○ 報告事項

1. 総務委員会報告
2. 研究科長・学部長・研究所長合同会議等報告（総B2号）（総B3号）
3. 全学環境安全衛生管理室等会議・事故災害報告（総B4号）
4. 各委員会報告（経B1号）
5. その他

○ 議題

1. 2023年度女性人事加速サポート人事マネジメント支援プログラムの申請について（総B5号）

教授会

○ 教員人事

准教授	提案	1件
	報告	1件
教授	報告	2件

計4件

委員会関係

教務委員会

財務委員会

・研究支援経費の申請について（経B1号）

教育研究経費委員会

情報基盤委員会

入試委員会

教養教育評価委員会

学生委員会

三鷹国際学生宿舎
運営委員会

図書委員会

前期運営委員会

後期運営委員会

建設委員会

環境委員会

・環境整備について

防災委員会

その他の

拡大教授会および教授会議事要旨(案)

日時 2023年4月20日(木) 15:01~16:51
場所 Zoom会議
出席者 250名

議題

○ 報告事項

1. 総務委員会報告

研究科長から、4月6日、4月20日開催の総務委員会について説明・報告があった。

2. 研究科長・学部長・研究所長合同会議等報告

研究科長から、3月14日、4月4日開催の研究科長・学部長・研究所長合同会議について、資料(総A1号)(総A2号)に基づき説明・報告があった。

3. 全学環境安全衛生管理室等会議・事故災害報告

環境安全管理室道上達男室長から、資料(総B2号)(総B3号)に基づき報告があった。

4. 各委員会報告

- ・ 櫻井英治教務委員会委員長から、令和5年度入学者数について、資料(教B1号)に基づき報告があった。
- ・ 櫻井英治教務委員会委員長から、令和5年度進学者数について、資料(教B2号)に基づき報告があった。
- ・ 櫻井英治教務委員会委員長から、2023年度S Semester(S1・S2ターム)定期試験について、資料(教B3号)に基づき報告があった。
- ・ 櫻井英治教務委員会委員長から、2023年度S Semester(S1・S2ターム)成績報告について、資料(教B4号)に基づき報告があった。
- ・ 増田建財務委員会委員長から、2023年度における預託金制度について、資料(経B1号)に基づき報告があった。
- ・ 新井宗仁社会連携委員会委員長から、2023年度S Semester「高校生と大学生のための金曜特別講座」について、説明があった。

5. その他

- ・ 2023年度役職者について、研究科長から説明があった。
- ・ 研究科ロゴマークの使用について、田村隆研究科長補佐から説明があった。
- ・ TLPパンフレット2023について、鳥山祐介TLP委員会委員長から説明があった。
- ・ 研究科長室新メンバーについて、研究科長から紹介があった。
(真船文隆研究科長、増田建副研究科長、松田恭幸副研究科長、四本裕子総長補佐、晝間敬研究科長補佐)
- ・ 事務部異動者について、事務部長から紹介があった。
(大久保伸一事務部長、小山淳経理課長、泉田勝教務課長、高井力図書課長)
- ・ 新任教員挨拶があった。

○ 審議事項

1. 2022年度教授会慶弔費支出報告

研究科長から、資料(総B5号)に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

2. ファカルティハウス規則の改正案について

研究科長から、資料(研B3号)に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

3. 教養学部各学科等教務関係内規改正について

中澤公孝後期運営委員会委員長から、資料(教B5号)に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

4. 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部とインドネシア教育大学との学術交流協定の締結について
谷垣真理子教授から、資料（教B 9号）に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

以下、教授会構成員対象の議題です。

○ 教員人事

講 師	報 告	1 件
准 教 授	報 告	5 件
教 授	報 告	8 件
推 薦	名誉教授	7 件

計 2 1 件

以上

議題及び資料

-
- | | | |
|----|-------|----|
| 01 | 学内外情勢 | 総長 |
|----|-------|----|
- (資料1) 学内外情勢
-
- | | | |
|----|------------------------------------|-----|
| 02 | マスタートール科学技術大学(UAE)との全学覚書終結
* 審議 | 林理事 |
|----|------------------------------------|-----|
- (資料2) 東京大学とマスタートール科学技術大学との全学協定終結
-
- | | | |
|----|-------------------------------|-------|
| 03 | 部局長等との会議に関する総長覚書の一部改正
* 審議 | 大久保理事 |
|----|-------------------------------|-------|
- (資料3) 部局長等との会議に関する総長覚書の一部改正について(案)
-
- | | | |
|----|---------------------------|------|
| 04 | 日本学術振興会特別研究員の機関雇用
* 審議 | 齊藤理事 |
|----|---------------------------|------|
- (資料4) 東京大学における日本学術振興会特別研究員(PD等)の雇用方針について(案)
-
- | | | |
|----|-------------------------------|------|
| 05 | 令和5(2023)年度総長室総括委員会委員
* 報告 | 齊藤理事 |
|----|-------------------------------|------|
- (資料5) 令和5(2023)年度総長室総括委員会委員
-
- | | | |
|----|--|-----|
| 06 | 2023年度女性教員(教授・准教授)増加のための加速プログラムの実施
* 報告 | 林理事 |
|----|--|-----|
- (資料6) 6-1:2023年度「女性教員(教授・准教授)増加のための加速プログラム」の公募について、6-2:(参考)2023年度男女共同参画室の事業について
-
- | | | |
|----|-------------------------------|-----|
| 07 | 2023年度前期研究者サポート要員配置助成
* 報告 | 林理事 |
|----|-------------------------------|-----|
- (資料7) 7-1:2023年度前期ワーク・ライフ・バランス支援のための研究者サポート要員配置助成の実施について、7-2:(参考)2023年度男女共同参画室の事業について
-
- | | | |
|----|---------------------------------|------|
| 08 | 研究評価の在り方に関する検討委員会 検討まとめ
* 報告 | 齊藤理事 |
|----|---------------------------------|------|
- (資料8) 研究評価の在り方に関する検討委員会 検討まとめ
-
- | | | |
|----|--------------------------------------|-------|
| 09 | 2023年度東京大学学術成果刊行助成及び而立賞の審査結果
* 報告 | 大橋副学長 |
|----|--------------------------------------|-------|
- (資料9) 2023年度東京大学学術成果刊行助成採択数(第4回東京大学而立賞受賞者数)
-
- | | | |
|----|------------------------------------|------|
| 10 | 若手研究者の国際展開事業(2023年度事業)選考結果
* 報告 | 岸執行役 |
|----|------------------------------------|------|
- (資料10) 若手研究者の国際展開事業(2023年度事業)選考結果
-
- | | | |
|----|---|-------|
| 11 | 東京大学事業化推進助成制度(東京大学GAPファンドプログラム)第13期公募
* 報告 | 染谷執行役 |
|----|---|-------|
- (資料11) 東京大学GAPファンドプログラム公募要領
-
- | | | |
|----|---------------------------------------|-------|
| 12 | オンサイト自家消費型太陽光発電設備の設置(Ⅱ期計画)の募集
* 報告 | 大久保理事 |
|----|---------------------------------------|-------|
- (資料12)～UTokyo Climate Actionの推進～オンサイト自家消費型太陽光発電設備の設置(Ⅱ期計画)の募集について
-
- | | | |
|----|----------------------------------|-------|
| 13 | 「施設保全カルテ」の作成を目的とした施設状況調査
* 報告 | 大久保理事 |
|----|----------------------------------|-------|
- (資料13)「施設保全カルテ」の作成を目的とした施設状況調査について(案)
-
- | | | |
|----|-----------------------------------|------|
| 14 | 令和5年度功績者顕彰「東京大学稷門賞」候補者の推薦
* 報告 | 津田理事 |
|----|-----------------------------------|------|
- (資料14)『令和5年度功績者顕彰「東京大学稷門賞」候補者の推薦』概要
-

議題及び資料

15	2022年度業務改革推進オフィス活動報告書 * 報告 (資料15) 2022年度業務改革推進オフィス活動報告(教職員限り)	今泉理事
16	令和5年度総長補佐の担当事項 * 報告 (資料16) 16-1:令和5(2023)年度補佐会名簿、16-2:令和5年度総長補佐が担当(出席)する諸室・委員会等一覧表	大久保理事
17	寄付講座、社会連携講座及び国立研究開発法人連携講座等の設置等 * 報告 (資料17) 寄付講座、社会連携講座及び国立研究開発法人連携講座等の設置等	齊藤理事
18	その他 (1) 兼業手続きの徹底 (資料18) 兼業手続きの徹底について	大久保理事
	(2) 東京カレッジ・教養学部共催「東京大学卓越教授 連続講演会」 (資料19) 東京大学卓越教授 連続講演会	森山執行役
	(3) 先端国際共同研究推進事業公募 (資料20) 先端国際共同研究推進事業／プログラム	齊藤理事
	(4) 創発的研究支援事業における研究環境改善支援 (資料21) 創発的研究支援事業	齊藤理事
	(5) 令和4年度「東大の研究室をのぞいてみよう！～多様な学生を東大に～」プログラムの開催 (資料22) 「東大の研究室をのぞいてみよう！～多様な学生を東大に～」プログラムの実施(報告)	津田理事
	(6) 駒場・本郷キャンパスにおけるウォーターサーバーの設置 (資料23) ウォーターサーバーBoxデザイン	大久保理事

議題及び資料

01 学内外情勢	総長	
(資料1) 学内外情勢		
02 パスツール研究所との連携	相原理事	
* 審議		
(資料2) Planetary Health Innovation Center(PHIC)		
03 Imperial College London(英国)との連携	相原理事	
* 審議		
(資料3) ICL-日立-東大の三者協業について(科所長限り)		
04 国立大学法人東京大学、公益財団法人川崎市産業振興財団、川崎市によるナノ医療及び看護ケアイノベーションの推進と普及に関する基本協定書	津田理事	
* 審議		
(資料4) 4-1:国立大学法人東京大学、公益財団法人川崎市産業振興財団、川崎市によるナノ医療及び看護ケアイノベーションの推進と普及に関する基本協定書(案)、4-2:東大、川崎市、川崎市産業振興財団によるナノ医療及び看護ケアイノベーションの推進と普及に向けた三者協定について		
05 東京大学スポーツ憲章起草タスクフォースの設置	津田理事	
* 審議		
(資料5) 東京大学スポーツ憲章起草タスクフォースの設置について(案)		
06 UTokyo Global Navigation Board (GNB) First Online Meeting 開催報告	総長	
* 報告		
(資料6) UTokyo Global NavigationBoard (GNB) First Online Meeting開催報告(学内限り)		
07 東京大学における研究インテグリティの確保に関する体制整備	齊藤理事	
* 報告		
(資料7) 東京大学における研究インテグリティの確保に関する体制整備について		
08 東京大学サステイナブルキャンパスプロジェクト(TSCP)の現状と2023年度計画	岸執行役	
* 報告		
(資料8) 東京大学サステイナブルキャンパスプロジェクト(TSCP)の現状と2023年度計画		
09 英語版報告書「UTokyo WAY 2022-2023」の発行	相原理事	
* 報告		
(資料9) UTokyo Way 2022-2023		
10 GO GLOBAL東大留学フェア2023開催予定	矢口副学長	
* 報告		
(資料10) GO GLOBAL東大留学フェア2023		
11 その他	岸執行役	
(1) 令和5年度「東京大学安全の日」講演会		
(資料11) 令和5年度「東京大学安全の日」講演会の開催について(通知)		
(2) 令和5(2023)年度科所長会議名簿		総長
(資料12) 研究科長・学部長・研究所長会議(科所長会議)(令和5年5月1日)		

2023年5月全学環境安全管理室等会議・事故災害報告(要約)

・休業4日以上

22327I 栄養士(女性:27歳);手動扉を開けた際に、顔面(右眼付近)をぶつけ打撲した。(休業14日)

・不休業事故・災害

22320F 教授(男性:42歳);研究室で書類を整理中に、重い荷物(10kg以上)を両手で持った際に、右手を机にぶつけ、小指を骨折した。

22323F 特任助教(男性:30歳);実験器具を運搬中、実験室出入口に多数並んでいた靴を踏んで足を捻り、中足骨を骨折した。

22325F D3院生(男性:26歳);NMR装置用スピナーにガラス製試料管を挿入したところ、試料管が折れて指に刺さり、内容物(テトラクロロエタンと溶解したポリエチレン)が傷口にかかった。

22328F 看護師(女性:27歳);備品カートを押していた業者の前方不注意により、カートと衝突して右眼を打撲した。

23004F M2院生(男性:23歳);加熱攪拌装置の上に氷浴を設置して作動させていたところ、水が溢れて装置内部に侵入。電源を再投入した後、装置の側面に両手を触れた際に感電した。

23005F 准教授(男性:38歳);段ボールを抱えて階段を下りていたところ、最後の1段を踏み外して左足を痛めた。

23006F 技術職員(女性:64歳);生垣剪定用刈り払い機を片付けるために持ち上げようとしたところ、エンジンが完全に停止しておらず、刃が動いて左手人差し指と中指に切創を負った。

23007F 特任専門職員(男性:28歳);ステンレス板を手で押さえてボール盤で穴を開けようとしたところ、ドリルとともに板が回転し、左手親指に切創を負った。

23010F 学部学生3年(女性:21歳);ガラス細工の学生実習中、ガスバーナーで熱したガラス管を触ってしまい、右手指にやけどを負った。

23014F 派遣職員(女性:41歳);ドアを開ける際に稼働中の掃除ロボットに気を取られ、ドアと床の隙間に左足中指をはさみ、切創を負った。

23017F 助教(男性:61歳);深海生物採集の漁船の揺れがひどく、甲板に這いつくばって漁獲物の選別作業をしたところ腰を痛めた。

23018F 特任研究員(女性:32歳);ケージ内の患畜(猫)をなでていたところ、突然あばれて両手の甲を咬まれた。

・通勤災害

22309J M2院生(女性:24歳);通学時、交差点を自転車で走行中、後輪に自動車と衝突して転倒した。

・ヒヤリハット

22326H 実験室の酸素濃度警報器が誤動作により発報した。(4か月前には警報機の定期点検を実施していた)

23015H 恒温槽の故障により漏電が発生した。

・その他

23011S 研究員等(女性:77歳);消毒用エタノールを一斗缶から霧吹きに移し替える作業中に、手がすべり霧吹きが落下。衝撃で液体が吹き上がり(保護めがねをしていたが)眼に入った。

23012S M1院生(男性:22歳);飲酒により酩酊状態となって救急搬送された。

・人的被害なし、設備災害でない機器・施設損傷あり

22321Nd 乗用草刈り機で作業中、機体を旋回した際に木製支柱と接触し破損させた。

22324Nd 公用車で林道を走行中、路面残雪によりハンドルをとられ除雪でできた雪の山に衝突。飛び出て

いた枝が車体に刺さり、バンパーとウインドウオツツシャー液タンクが破損した。

23001Nd 水槽用のLED蛍光灯が消えていたため確認したところ、ショートによってソケット周辺が黒く溶解していた。

23002Nd (構外)公用車で駐車場から出る際に、幅の狭い市道に駐車していた車と接触した。

23016Nd 吊り下げていた紐が切れたため額が落下。ガラス製カバーが破損し飛散した。

・人的被害なし、設備災害でない有害物（臭）流出あり

23003NI 100Lの液体窒素容器を運搬中、スロープを登ろうとして容器上部に過度に力を加えたため容器が転倒。窒素が多少噴出した。

以上 教養学部等環境安全管理室

研究支援経費(間接経費)の取扱いについて

研究支援経費(間接経費)は、直接経費で実施される研究を維持するための、人件費、光熱水料、建物等維持管理費などに使われており、余裕がない状況にある。しかしながら、当該研究を行うためには施設の改修等直接経費では執行することのできない経費が発生する場合もあるため、以下の場合に限り、財務委員会の承認のもとで、研究代表者等に研究支援経費を配分することとする。

記

(目的)

- 1 研究を円滑に遂行するため、一定の制限内で研究支援経費を配分する。

(対象研究費)

- 2 科学研究費助成事業、受託研究、共同研究等、間接経費(研究支援経費)が計上されている全ての研究費を対象とする。ただし、寄附金は除く。

(申請者)

- 3 各研究課題の研究代表者等が申請手続きを行う。申請者(特任教員、特別研究員含む)は以下のいずれかであること。
 - ・本研究科着任後3年度以内(申請時)の者
 - ・大型プロジェクト研究(原則として1プロジェクトにつき当該年度の直接経費3,000万円以上)の代表者

(支援対象)

- 4 効果的かつ効率的に研究を行うために必要な経費を対象とする。詳細については、別紙「研究支援経費の申請にあたって」のとおり。

(申請限度額)

- 5 原則、各研究課題の当該年度に採択(配分)された間接経費(研究支援経費)の1/5の範囲内。ただし、申請総額が300万円を超える場合には、予め財務委員長と協議した上で申請すること。

(申請方法)

- 6 研究支援経費の申請を希望する者は、11月末までに別紙申請書に記入のうえ財務委員長宛(提出先:経理課財務チーム)に申請すること。ただし、本研究科着任が11月1日以降の場合には別途経理課財務チームに相談すること。また、大規模な施設改修等、原状復帰に多額の経費を要すると見込まれる申請の場合には、必ず事前に専攻・系・部会の了承を得ておくこと。

(決定方法)

- 7 原則、財務委員会にて12月に審議を行い決定する。

この取扱いは、令和1年10月1日から適用する。

研究支援経費の申請にあたって

研究支援経費の申請にあたっては、効果的かつ効率的に研究を行うために必要な経費（実験機器等購入・修理、研究のための施設改修、非常勤教職員人件費（当該競争的資金等に関連する業務を担当し、かつ研究期間終了後の人件費予算確保ができる場合のみ可））を申請くださいますようお願いいたします。当該競争的資金等の直接経費（以下「直接経費」という。）にて執行が可能なもの及び生活環境の向上が目的のものに関しては、支援の対象外となる場合がありますのでご注意願います。

【留意事項】

1. 以下の事例については、原則、直接経費にて申請願います。

- ・ パソコン及び周辺機器（ハードディスク、プロジェクター、モニター、キーボード等）
- ・ 消耗品（文房具、コピー紙等）

ただし、直接経費で執行できない理由（当該競争的資金等のルールにより執行が不可等）がある場合には支援対象とします。予算の都合上、直接経費で申請できない等の理由は認められません。

2. 以下の事例のうち、生活環境の向上が目的のものは支援の対象外とします。

- ・ 掃除機
- ・ 空気清浄機（除湿器・加湿器含む）
- ・ 冷蔵庫（冷凍庫を含む）
- ・ 電子レンジ

ただし、研究のために必要であることが明確に説明できるものは支援対象とします。

3. 以下の事例については、研究用設備として支援対象とします。

- ・ 実験機器設置のための配管等の工事
- ・ 実験室等研究施設の空調設備
- ・ 実験室等研究施設の借用
- ・ ネットワーク環境の整備
- ・ 机、椅子、書架、ホワイトボード

（ただし、机や椅子については、生活環境の向上が目的と思われる高価な物品を支援の対象外とする場合があります。）

申請にあたっては、上記の留意事項を踏まえ、内容を精査し、疑義の生じる要求については、要求内容にその理由を明記してご提出願います。

令和 年度 研究支援経費申請書

申請者所属:

申請者役職:

申請者氏名:

着任年度:

内 線:

E-mail:

獲得した競争的資金の種類及び間接経費の総額	<input checked="" type="radio"/> 科研 ・ <input type="radio"/> 受託研究 ・ <input type="radio"/> 共同研究 ・ <input type="radio"/> NEDO ・ <input type="radio"/> その他()	
	課題番号 又は プロジェクト番号	
	配分された間接経費の額 (研究支援経費申請年度に配分される間接経費の総額)	円
申請事項		
申請額 ※間接経費の額の1/5が上限	円	
専攻・系・部会の上承 (大規模修繕の場合のみ記入)	有 無	

(所要額積算内訳)

事 項	所 要 額			備 考
	単 価	員 数	金 額	
要求分 (※プルダウンメニューより選択願います。)	円		円	
(※プルダウンメニューより選択願います。)	1,000	1	1,000	
(※プルダウンメニューより選択願います。)	2,000	3	6,000	
(※プルダウンメニューより選択願います。)	3,000	4	12,000	
(※プルダウンメニューより選択願います。)	5,000	1	5,000	
(※プルダウンメニューより選択願います。)	6,000	3	18,000	
(※プルダウンメニューより選択願います。)	500	1	500	
自己負担分 ●●ほか			0	
申請額 負担額 合計			42,500 0 42,500	申請額に誤りがあります 自己負担額があればその額を記載 ※税込
備考 (配分希望先)				

1. 獲得した競争的資金の申請書中、間接経費の額が記載されている頁のみ、写しを添付すること。※大型プロジェクト研究で申請する場合のみ。

2. 獲得した競争的資金毎に作成すること。

3. 備考欄への理由記載を行う場合、具体的かつ簡明に記載すること。(欄が足りない場合、別紙記載とすること。)

4. 見積書やカタログ等、申請額が客観的に判断できるものを必ず添付すること。

5. 消費税込みの金額とすること。

(別紙)

品目	空気清浄機 除湿器・加湿器含む <small>(上記で/その他を選択した場合、この欄に具体的な品目を記載願います)</small>
理由	研究目的として必要とする理由
(以下、記載)	

令和 年度 研究支援経費申請書(記入例)

申請者所属 超域科学〇〇コース

申請者役職: 教授

申請者氏名: 〇〇 〇〇

着任年度: R●●

内 線: 46●●●

E-mail: _____

獲得した競争的資金の種類及び間接経費の総額	<input checked="" type="radio"/> 科研 <input type="radio"/> 受託研究 <input type="radio"/> 共同研究 <input type="radio"/> NEDO <input type="radio"/> その他()	
	課題番号 又は プロジェクト番号	2308 × × × × × × × ×
	配分された間接経費の額 (研究支援経費申請年度に配分される間接経費の総額)	× × 円
申請事項		
申請額 ※間接経費の額の1/5が上限	× × 円	
専攻・系・部会の上承 (大規模修繕の場合のみ記入)	有 無	

(所要額積算内訳)

事 項	所 要 額			備 考
	単 価	員 数	金 額	
要求分	円		円	
机	150,000	1	150,000	〇〇として△△の研究に必要である為 直接経費の執行ルールでパソコン購入が禁止されているため (品目名)、〇〇の研究に必要である為
書架	200,000	1	200,000	
掃除機(研究目的として必要とする理由を備考欄に明記願います。)	250,000	1	250,000	
空気清浄機(除湿器・加湿器含む)(研究目的として必要とする理由を備考欄に明記願います。)	150,000	1	150,000	
パソコン(プロジェクター・モニター等周辺機器含む)(直接経費で執行不可の理由を備考欄に明記願います。)	50,000	1	50,000	
その他(必要とする品目とその理由を備考欄に明記願います。)	200,000	1	200,000	
自己負担分				
パソコン周辺機器	100,000	1	100,000	
申請額			1,000,000	申請額に誤りがあります
負担額			100,000	自己負担額があればその額を記載
合計			1,100,000	※税込
備考 (配分希望先)				

1. 獲得した競争的資金の申請書中、間接経費の額が記載されている頁のみ、写しを添付すること。※大型プロジェクト研究で申請する場合のみ。

2. 獲得した競争的資金毎に作成すること。

3. 備考欄への理由記載を行う場合、具体的かつ簡明に記載すること。(欄が足りない場合、別紙記載とすること。)

4. 見積書やカタログ等、申請額が客観的に判断できるものを必ず添付すること。

5. 消費税込みの金額とすること。

2023年度女性人事加速サポート

人事マネジメント支援プログラム（申請要領）

1. 目的

- (1) 女性教員比率 25%達成に向けた部局の新たなチャレンジを支援すること
- (2) 国内外から多様で優れた研究者を受け入れること

2. 申請要件

- (1) 人事マネジメント支援プログラムは、次に掲げる2つの要件を満たした部局からの申請に基づき、審査を行うものとする。
 - ①学外の者を2022年5月2日から2023年5月1日までの間に、部局の恒久採用可能数を用いて、女性教授又は女性准教授として採用した部局
 - ②2022年5月1日と比較し、2023年5月1日の部局における女性教員数及び女性教員比率又は常勤の特任教員を含む女性教員数及び女性教員比率が上昇した部局
- (2) (1) ①の女性教授又は女性准教授の採用について、学外の者の採用の他、学内の特任研究員及び特定短時間勤務の特任教員からの異動も含むものとする。その他の学内異動についてはQ&Aを参照すること。
- (3) (1) ①の要件の当否については、Q&Aを参照すること。

3. 手続き

- (1) 本支援プログラムの活用を希望する部局の長は、あらかじめ教授会の了解を得て、男女共同参画室に申し出るものとする。
- (2) 申出は、申請書（様式1）及び人事情報（様式2）を本部ダイバーシティ推進課にメールで提出するものとする。
- (3) 申出後、各様式の内容に変更等が生じた場合は、速やかに本部ダイバーシティ推進課に報告するものとする。
- (4) 申出期間は、2023年5月17日から2023年5月31日までとする。

4. 審査

- (1) 部局から提出された各様式に基づき、男女共同参画室において内容の確認及び審査を行い、支援対象部局及び配分額について案を決定する。
- (2) 審査に際し、必要に応じて、聞き取り調査又は資料の提出を求める場合がある。
- (3) 決定した支援案は、役員会の議を経て、最終決定を行う。

5. 支援

- (1) 支援は、学外から採用する若手女性教員（特任教員を除く）の人件費とする。
- (2) 支援期間は、若手女性教員の採用から3年間とする。
- (3) 予算の都合上、2023年度給与マネジメント支援プログラムの配分状況を考慮するものとする。
- (4) 若手女性教員の採用は、学外からの採用の他、学内の特任研究員及び特定短時間勤務の特任教員からの異動は対象とする。その他対象となる学内の異動についてはQ & Aを参照すること。
- (5) 本支援プログラムを用いた若手女性教員の採用が決定した部局は、速やかに報告書（様式3）を本部ダイバーシティ推進課に提出するものとする。
- (6) その他支援に関することは、本部ダイバーシティ推進課から別途案内を行う。

6. その他

- (1) 本要領に定めるもののほか、本支援プログラムに関し必要な事項は、別に定める。
- (2) 本支援プログラムについて不明な点は、Q & Aを参照する他、下記担当に問い合わせること。

（事務局担当）

本部ダイバーシティ推進課

E-mail : diversity-prom.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

2023 年度人事マネジメント支援プログラム申請書

男女共同参画室 御中

(部局長名)

(部局名) は標記支援を希望いたします。

なお、下記のとおり、標記支援を用いた女性教員の採用等を計画しております。

記

1. 希望支援額と利用計画

○希望支援額

✓	1,200 万円	✓	1,100 万円	✓	1,000 万円	✓	900 万円
✓	800 万円	✓	700 万円	✓	600 万円		

※複数回答可

○利用計画 (若手女性教員の人数・職位・給与等)

--

※希望支援額と利用計画の内容が乖離しないこと

2. 若手女性教員の採用計画について

✓	女性限定公募を行う予定である。
✓	採用計画を立てており、支援決定後、速やかに公募を行う予定である。
✓	支援決定後、採用計画を立て、公募を行う予定である。
✓	その他 ()
備考	

3. 支援期間終了後の計画について

--

部局の人事情報（女性教員数等）について

① 部局における女性教員の採用状況について

2022年5月2日から2023年5月1日までの間に、恒久採用可能数を用いて、学外から新規採用した女性教授又は女性准教授の情報を記載してください。

個人番号	氏名	職名・分野	採用日	恒久採用可能数上の前任者・所属専攻等

※教授又は准教授の恒久採用可能数を人件費に移行した財源（人件費管理移行財源）を用いた第8章による女性教授及び女性准教授の採用の場合、教授又は准教授の恒久採用可能数の財源化（第2章）又は人件費管理移行財源で採用した年俸制教授又は年俸制准教授の場合は、③に詳細を記載すること。

※時限採用可能数又は時限財源を用いた採用は含みません。

※役員（常勤）、教員、特任教員（常勤）からの採用は含みません。

※採用時の任期又は採用から定年までの期間が5年未満となる者及びそれに類する者を除く。

②部局における各年度の教員数及び女性教員数について

○教員

	教授	准教授	講師	助教	助手
2022.5.1	()	()	()	()	()
2023.5.1	()	()	()	()	()

※職名ごとに男女合計人数（カッコ内は女性数）を記載してください。

※本学から給与の支給が無い者、本学と雇用関係が無い者は除きます。

○特任教員

	特任教授	特任准教授	特任講師	特任助教
2022.5.1	()	()	()	()
2023.5.1	()	()	()	()

※職名ごとに男女合計人数（カッコ内は女性数）を記載してください。

※本学から給与の支給が無い者、本学と雇用関係が無い者は除きます。

③その他参考情報等

--

若手女性教員の雇用について（報告）

1. 人事マネジメント支援プログラム採択年度

2. 採用者情報 I

	個人番号 (8桁)	氏名	年度末 年齢	採用日	職名	月額※ (業績・成果手当等を含む)	最終任期満了予定日 (無しの場合は 【無】と記載)
①							
②							

※第8章を利用する場合は、月額は不要ですが、申請日を記載してください。(例：第8章利用、●月●日申請)

3. 採用者情報 II

(公募方法)

4. 配分額の使用計画

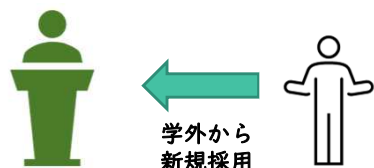
2023年度女性人事加速サポート 人事マネジメント支援プログラム

申請要件①と②を満たした部局からの申請に基づき、若手女性教員の人件費支援【3年間】を決定

①学外の者を2022/5/2～2023/5/1の間に恒久採用可能数を用いて、女性教授・女性准教授を採用した

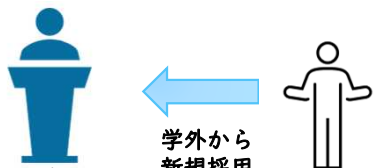
2022/5/2 2023/5/1

- ✓後任人事で女性の教授又は准教授を新規採用
- ✓空きポストに女性の教授又は准教授を新規採用



女性教員
【恒久採用可能数】

- ✓部局の教授又は准教授の恒久採用可能数を人件費に移行した財源等により女性の教授又は准教授を新規採用



女性教員
【年俸制教員・第8章】

②2022/5/1との比較で、2023/5/1の女性教員数・女性教員比率が上昇した

2022/5/1

2023/5/1

職名	男性	女性	女性比率
教授	30	3	9.1%
准教授	60	10	14.3%
講師	8	2	20%
助教	100	20	16.7%
計	198	35	15.0%

職名	男性	女性	女性比率
教授	29	4	12.1%
准教授	60	11	15.5%
講師	8	2	20%
助教	97	23	19.2%
計	194	40	17.1%

上昇を確認

女性人事加速サポート 2023年度人事マネジメント支援プログラム

3年間の支援（若手女性教員の人件費）を用いた人事計画

支援

支援（若手女性教員の人件費）を用いてできること（例）

年1,200万円の支援
(3年間で計3,600万円)

- ✓ 年俸制准教授の採用
- ✓ 年150万円の部局負担で、第8章教授を採用
- ✓ 人件費の差額分を部局負担で、年俸制助教を3名採用

年1,000万円の支援
(3年間で計3,000万円)

- ✓ 年俸制准教授の採用
- ✓ 年90万円の部局負担で、第8章准教授を採用
- ✓ 人件費の差額分を部局負担で、年俸制助教を2名採用

年700万円の支援
(3年間で計2,100万円)

- ✓ 年俸制助教の採用
- ✓ 年90万円の部局負担で、第8章助教を採用
- ✓ 人件費の差額分を部局負担で、年俸制准教授を採用

支援をどのように用いるか、部局の戦略的な計画に期待！

○部局長の裁量経費として女性限定公募を行う

○女性限定公募を行う専攻への支援

○女性教員が少ない分野への支援

等

(参考) 2023年度人事マネジメント支援プログラムの流れ

